

平成 29 年度 山口県医師会有床診療所部会総会

と き 平成 29 年 10 月 26 日 (木) 16:00 ~ 16:45

ところ 山口県医師会 6 階会議室

[報告 : 山口県医師会有床診療所部会会長 正木 康史]

第 3 回役員会 (前頁参照) に引き続いて、山口県医師会 6 階会議室で総会を開催した。

開会

香田県医師会理事の進行で開催され、まず出席者の確認が行われた。部会員数 75 名の内、出席者 14 名、委任状提出 50 名、合計 64 名で過半数に達しており、総会が成立する旨の報告があった。

挨拶

河村康明 山口県医師会長 ようやく過ごしやすい季節となってきましたが、本日はご出席ありがとうございます。来年度には医療・介護報酬の同時改定が予定されている。上がる要素はないが、少なくとも現状維持はしていただかなければならないと考える。正木部会長は日医の診療報酬検討委員会等にも出ておられるので、後ほど同時改定等の情報も聞かせていただけるのではないかと考える。また、来年度には全国有床診療所連絡協議会総会・山口大会という大きなイベントも控えており、本日はご協議のほどよろしく願いたい。

正木 本日はお忙しい中、総会にご出席いただきありがとうございます。平成 28 年度医療費の動向調査の発表があったが、医療費は 41.3 兆円で、

前年度比 0.2 兆円の減であった。これは 28 年度の診療報酬改定の影響もあるが、C 型肝炎治療薬、ソバルディやハーボニーなどの抗ウイルス薬の大幅減少によるものであり、医療費に占める薬剤費の大きさを考えさせられる現象だと考える。

中央情勢報告であるが、この 9 月には厚労省より全国有床診療所連絡協議会との協議の場を持ちたいとの要請があり、会長を含めて 3 名が厚労省に赴き、私も医療保険担当として出席し、懇談、要望等を行った。来年度の医療・介護報酬の同時改定に向けて、厚労省も当然力を入れており、今回の懇談もこれまではない医政局総務課、保険局医療課及び老健局老人保健課との合同会議で、それぞれの担当課長が出席し、厚労省の本気度が窺える会合であった。

社会保障審議会医療部会より示された次期診療報酬改定の最終基本方針は、

視点 1 : 地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進

視点 2 : 新しいニーズにも対応できる安心・安全で質の高い医療の実現・充実

視点 3 : 医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進

視点 4 : 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上

であり、視点 1 が重点項目であるが、先の厚労

出席者

部会

部会長 正木 康史
副部会長 佐々木義浩
理事 堀地 義広
理事 吉永 榮一
理事 樫田 史郎

理事 阿部 政則
部会員 伊藤 真一
部会員 林田 英嗣
部会員 松永 尚治

県医師会

会長 河村 康明
副会長 濱本 史明
常任理事 弘山 直滋
理事 香田 和宏
理事 前川 恭子

省との懇談の席でも、厚労省は視点 1 に関して、有床診療所に看取りも含めた在宅医療の充実、介護保険との連携の推進を期待しているようで、この点に関しては点数をつけてくれそうである。診療報酬改定の決定機関である中医協では、この基本方針に沿った内容が協議、検討され、その結果、点数に結び付くことになる。よって、われわれもこの基本方針に関連した要望を上げていく必要がある、私からも視点 3 に関して、病院勤務医の負担軽減には、産科医療をはじめとして有床診療所の専門医療の確保も重要である旨主張し、有床診療所の経営基盤の強化を要望した。

ただ、10 月 25 日（開催）の財政制度等審議会財政制度分科会では診療報酬の 2% 以上の引下げ、さらに診療報酬本体も引下げるべきとの方向性が示されるなど、厳しい財源下での改定を覚悟する必要がある。日医には是非とも頑張って押し戻してほしいと考える。

来年度には全国有床診療所連絡協議会総会・山口大会も控えておりますので、本日はご協議よろしくをお願いいたします。

議長選出

会則 13 条の規定により、部会長が議長となり議事に入る。

議事

(1) 平成 28 年度事業報告について

県医師会関係

- ・平成 28 年度総会（H28.10.20）
- ・第 1 回役員会（H28.6.30）
- ・第 2 回役員会（H28.10.20）
- ・第 3 回役員会（H29.1.26）

全国有床診療所連絡協議会関係

- ・第 1 回役員会「東京」（H28.6.12）〔正木〕
- ・第 2 回役員会「静岡」（H28.7.30）〔正木〕
- ・第 3 回役員会「東京」（H28.12.4）〔正木〕
- ・常任理事会「静岡」（H28.7.30）〔正木〕
- ・第 29 回全国有床診療所連絡協議会総会・講演会「静岡大会」（H28.7.30～31）
〔河村県医師会長、阿部部会理事、正木〕
- ・平成 28 年度全国有床診療所連絡協議会九州

ブロック会講演会「博多」（H29.2.26）〔正木〕

- ・厚労省保険局医療課筆頭課長補佐との懇談
「博多」（H29.2.26）〔正木〕

全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会関係

- ・役員会「岡山」（H29.1.22）〔正木〕
- ・第 8 回総会「岡山」（H29.1.22）
〔河村県医師会長、香田県医師会理事、阿部部会理事、正木〕

(2) 平成 29 年度事業計画（案）について

県医師会関係では、平成 29 年度総会を 10 月 26 日（木）、第 1 回役員会を 4 月 27 日（木）、第 2 回役員会を 7 月 27 日（木）、第 3 回役員会を 10 月 26 日（木）に開催。第 30 回全国有床診療所連絡協議会総会・講演会「メインテーマ：今なぜ有床診療所が必要か？～地域に根ざす有床診療所の役割～」を大分県・別府湾ロイヤルホテルにおいて 7 月 1 日（土）・2 日（日）に開催。第 10 回全国有床診療所連絡協議会中国四国ブロック会総会（岡山県医師会）は平成 30 年 1 月 28 日（日）に開催予定。また、11 月 19 日（日）には日医と全国協議会の共催で、「有床診療所の日」記念講演会「Dr コトーの真実！離島の有床診療所での 39 年間」が東京・日医会館大講堂で開催される。その他、正木が全国有床診療所連絡協議会役員会、日医診療報酬検討委員会や自民党議連の会議などに出席し、全国の情報を部会員に伝達する。

なお、上記（1）平成 28 年度事業報告、（2）平成 29 年度事業計画（案）について、それぞれ協議いただき、承認された。

(3) その他

フリートーキングで、現在、各医療圏で地域医療構想調整会議が進められており、また、新専門医制度が開始されるなど、今般の医療情勢を考えると、有床診療所の経営も厳しいが、中小病院の経営も厳しくなるのではないかとの意見が出され、今後は病院協会と問題意識を共有する場を持つことも考えてみてはとの意見があった。